



目指せ！プロフェッショナル資格  
CFP®試験  
合格への道



大島 浩之さん

大島浩之 FP事務所  
(東京都)

2016年11月「金融資産運用設計」「不動産運用設計」「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」「リスクと保険」「タックスプランニング」「相続・事業承継設計」合格

2017年 6月 CFP® 資格認定

講師業で得た攻略法を実践し、  
1回の試験で全課目合格

CFP®試験の定番問題や重要問題は、Myページの「CFP®試験 過去問ピックアップ解説！」で詳しく解説しています。

Myページ

<https://members.jafp.or.jp/>

My SUCCESS POINT

正解するまで何度も問題を解く

会社の方針で合格目指す

私がFP資格取得を志したのは、前職の資格の通信スクールで、FP講師やスタッフの補強のため受験するよう促されたのがきっかけでした。会社の目標設定は「少なくとも2級FP技能検定合格」でしたが、「どうせやるなら、CFP®資格まで一気に取得しよう」と初めから考えていました。

まずは学習計画を立て、「全課目の総学習時間500時間、7割超の正解率」を目指しました。私にはかつて司法試験に挑戦していた経験や講師として宅地建物取引士の知識があったため、「不動産運用設計」と「相続・事業承継設計」については、他の課目の半分くらいの学習時間に抑えることができました。具体的な学習では、FPテキストと直近5回分の過去問題集を使いましたが、問題集の1回目は、解説を通読し、2回目に初めて解き、3回目以降は解けなかった問題を解けるまで何度も解くやり方です。もちろん、すべての問題に完璧に対応できるようになったわけではありませんが、「7割くらいなら解ける。本番では時間がかかる問題は後に回そう」といった感覚を大切にしました。FPテキストは問題集の解説を見てもイメージできない場合に辞書のように使いました。

また、「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」や「金融資産運用設計」をはじめとした時事的な出題や法改正に関する出題への対策として、『FPジャーナル』の「FP誌上講座」と「継続教育テスト」に目を通すようにしました。「最新知識についてはこれで対応できなければ仕方ない」と割り切り、やれることはやった、という自信を持っておきたかったのです。

試験第1週に、対策が不十分だった「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」をなんとか乗り越えたため、

2019年度 第2回CFP®資格審査試験

11月10日(日)  
11月17日(日)

詳細は協会ホームページ  
(<https://www.jafp.or.jp/>)  
をご覧ください

「このままいけば、本当に当初の目標を達成できるかもしれない」と思い、試験2週目までの1週間も出社前や帰宅後の時間を有効活用することで、納得のいく最終調整ができました。

実は試験2カ月前からずっと体調が優れませんでした。風邪だと思っていたのですが、試験の終わった1週間後に、疲れがたまっていたためか、喘息が悪化して呼吸困難となり、救急車で運ばれてしまいました。試験中に倒れなかったことが不幸中の幸いでした。それ以外は大成のCFP®受験であったといえます。

私の受験のきっかけは、受動的なものでした。それでも学習効果を上げるために、暗記に終始せず、「経験する」ことを意識しました。例えば保険を見直したり、投資を始めたり、ふるさと納税をしてみたりといったように、実際に経験したことが受験にもプラスに作用した気がします。また、「説明する、整理して話す」という能動的・積極的な行動を積み重ねて知識を習得したことも勝因だったと思います。この「経験してイメージを強化する学習法」を参考にいただければ、幸いです。

私は昨年12月に独立して個人事務所を設立しました。自らの受験経験を活かすべく、FP講師として、個別に受験のお手伝いをしています。私は「住宅ローン破産者を1人でも減らす」という使命を持っています。それに基づき、とりわけ宅地建物取引士の方のFP受験サポートに注力しています。

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須) ②氏名 ③昼間の電話ご連絡先 ④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先 → [journal@jafp.or.jp](mailto:journal@jafp.or.jp)  
件名は「合格体験談」係